

行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	循環型社会形成推進交付金 (高効率ごみ発電施設の整備促進)	<b>担当部局庁</b>	廃棄物・リサイクル対策部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度	<b>担当課室</b>	廃棄物対策課		廃棄物対策課長 山本 昌宏		
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	4-3 一般廃棄物対策 (排出抑制・リサイクル・適正処理等)				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の4	<b>関係する計画、通知等</b>	廃棄物処理施設整備計画 (平成20年3月25日閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	廃棄物の有効活用・温室効果ガスの排出抑制等が可能な高効率ごみ発電施設の早期整備を支援することにより、地域における循環型社会形成を推進するとともに、東日本大震災に起因する電力不足に対する貢献を目的とする。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<p>国際的な資源制約や地球温暖化への懸念の中、燃やさざるを得ない廃棄物からのエネルギーを有効活用し化石燃料の使用量の抑制を推進するため、循環型社会形成推進交付金によって市町村等が整備する発電効率23%相当以上の「高効率ごみ発電施設」の助成を実施してきたところであるが、東日本大震災により電力不足が生じている現状に鑑み、「高効率ごみ発電施設」の早期整備を推進する。</p> <p>交付対象施設: 高効率ごみ発電施設(焼却処理に伴い生じるエネルギーの有効活用を高効率に行うごみ発電施設)</p> <p>交付率: 高効率発電に必要な設備のみ交付対象経費の1/2 (それ以外の建屋等については交付対象経費の1/3)</p>						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	5,290
		補正予算	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	5,290
	執行額	-	-	-	-		
執行率 (%)	-	-	-	-			
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	(参考)循環型社会形成推進の成果目標のうち、 ごみ焼却施設総発電量	成果実績	MW	-	-	-	2,500
		達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	24年度活動見込
	実施箇所数(件)	活動実績 (当初見込み)	件				—
						( )	( 4 )
<b>単位当たり コスト</b>	1,323(百万円/件)		算出根拠	予算額(5,290百万円)/事業実施予定箇所数(4件)			
<b>平成 2 3 ・ 2 4 年 度 予 算 内 訳</b>	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	循環型社会形成推進交付金	-	5,290	24年度新規事業			
	計	-	5,290				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>従来より、循環型社会形成推進交付金により、廃棄物の有効活用・温室効果ガスの排出抑制等が可能な廃棄物処理施設の整備促進を図ってきたところであるが、東日本大震災に起因する電力不足に対応するため、発電効率の高い「高効率ごみ発電施設」の整備を優先的に推進する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>従来より廃棄物の有効活用・温室効果ガスの排出抑制等が可能な廃棄物処理施設の整備促進を図ってきたが、発電効率の高い「高効率ごみ発電施設」の整備を優先的に推進することにより電力不足の対応にも資するものであり、事業の必要性は認めるが、執行の際は効率的に務めること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					